

平和式典と長崎くんち — テレビ番組分析手法の提案 —

森 田 均

The Peace Ceremony and Nagasaki Kunchi Festival
- Proposal of Analysis Method for the TV Program -

Hitoshi MORITA

Abstract: This thesis proposes the method of analyzing the TV program. This new method clarifies the identity frequency of the event and the TV programming according to F-measure. F-measure is a value obtained from a multiple average of accuracy and the reproduction rate.

1. はじめに

この研究は、ローカル放送における番組編成の地域的な差異は番組表に反映されていると考え、各地域の新聞に掲載された番組表によってテレビ番組の過去を遡る通時的な軸と同日各地の差異を把握する共時的な軸を把握できるという作業仮説を実証した[森田 07b]に続くものである。

[森田 07b]で報告したデータに訂正と追加を行い、そこで課題とした内容分析に関して手法を提案する。今回も、「戦争と原爆の記憶に関するテレビ・メディア環境の多面的内容分析研究」（日本学術振興会科学研究費平成19～21年度萌芽研究，研究代表者：杉山あかし）のプロジェクトにおいて東京，広島，福岡，長崎の4地点で8月1日から15日まで地上波テレビ放送（NHK総合＋民放4系列）を全日録画した成果を反映させる。研究内容で設定した歴史的経緯を映像分析に接合させるという新たな目標をさらに深化させることとなる。

2. 平和式典関連データの訂正と追加

表1（表及び図は全て論文末尾にまとめて掲載）は「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」中継番組の放送時間の推移をまとめたものである。この式典は、通称を「広島平和記念式典」として毎年8月6日に広島市中区中島町の平和記念公園で午前8時から8時45分に開催される。2007年の同式典の模様を中継するNHKの番組を視聴すると、新聞等に掲載された放送終了予定時刻の8時35分に近づくと、次の番組を「8時37分から放送します」という内容のテロップが付される。これは2008年も同様であった。式典の進行上、8時35分前後は内閣総理大臣の挨拶が行われている。NHKは、予定の放送時間ではなく式典の進行に従って、番組を変更したと考えられる。この放送時間変更が2006年以前にも行われていたか否かについては、今後調査を行う予定

である。現在のところ手元にまとめたデータから明言できるのは、広島平和記念式典は完全中継する時間帯に設定されていない番組が殆どであるということである。例外は広島テレビ（HTV）の2006年以降の番組である。[森田 07b]でも述べたが、広島平和記念式典は広島地域でのテレビ放送開始直後から全国中継されていた。しかし、時間的には前半三分の二の範囲が中継されていたということになる。2008年にNHKは広島ローカルとして、8時35分から50分までの間、中継番組を放送している。（開始時刻は前番組の全国中継終了8時37分に連動して変更となっている。）

表2は、長崎の「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」中継番組の放送時間の推移をまとめたものである。まず、[森田 07b]で欠落していたデータとして、テレビ長崎（KTN）では1970（昭和45）年に12時00分から12時45分まで、1976（昭和51）年に10時30分から11時30分まで、それぞれ中継番組を放送していた。1969（昭和44）年に開局したテレビ長崎（KTN）が開局以来式典中継をしたデータが見つからないのは、1974（昭和49）年のみである。

2008年は、広島、長崎ともにNHKの全国放送を除くと民放でネットされた事例が見当たらなかった。[森田 07b]では4地点の推移を比較したが、本論文で当該地域のみ掲載したのは、そのためである。2008年の特色としては、8月8日から北京オリンピックが開催されたため、テレビ放送の番組編成が通常とは大きく異なるものとなったことを明記しておかなければならない。特に開会式直後であった8月9日への影響は大きく、NHKが夜7時のニュースを定時放送していなかったことが代表的な事例となる。また、後述するが2008年の8月9日は、土曜日であった。長崎ローカルの式典開催時間以外は、オリンピックと土曜日というテレビ放送にとって特殊事情が重なったことになる。長崎の式典中継番組では、長崎放送（NBC）が10時30分から11時54分までと最長の時間帯を確保したものの、10時50分から同55分までの間は全国ニュースが放送されて番組が中断となった。（表2「@」印、及び表9参照。なお表1及び表2の記号は[森田 07b]参照。）

3. 研究対象と手法

2008年も前述した科研費プロジェクトによる8月1日から15日まで連続して行った地上波全チャンネル終日録画でコンピュータのハードディスク上に蓄積させたデータを使用する。なお、本論文の執筆時点は2008年10月17日である。8月のデータは他地点のものが整理できていないため照合することが出来ない。従って、8月9日の長崎平和式典に関して長崎地区で録画したデータから、また独自に長崎のみで録画した10月7日のデータから考察を行う。すなわち、分析の対象は8月9日の「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」中継番組及び10月7日の「長崎くんち奉納踊り」中継番組である。

[森田 07b]がテレビ中継の歴史を過去の新聞によって把握した通時的な分析であったとすれば、本研究では録画した映像を根拠として、上記の2イベントに絞り込んで共時的な分析を行う。

4. 関連研究

本研究も、筆者がこれまで行ってきたインターネットと放送メディアの影響関係を考察するメディア研究[森田 00] [森田 01]、及び内容分析から生成に迫るコンテンツ研究[森田 04] [森田 05]に、地域メディア研究[森田 06]の成果を取り入れて発展を図るものである。また、研究の射程は、対象の内側（コンテンツ）と外側（メディア）を相補的に位置づけた[森田・藤田 01] [藤田・森田・西島 01]から始まり[森田 07a]へ連なる試みと同様である。

テレビのローカル放送については、[森田 07b]に引き続き[東大新聞研83] [東大新聞研84]をはじめとして広島メディアに関するものとして[NHK出版 03]を、長崎くんちに関しては[久留島・原田 06]を参照した。地方の新聞に関しては[鎌田 02]を参考にした。

番組の内容分析については、[Gerbner & Gross 76]から、その成果を日本で発展させた[岩男 00] [西別府・岩男 04]が本研究と関連する。これらはドラマを対象としたものだが、コーディングの応用などでは発展させるべき点が数多い。内容分析から生成に迫るコンテンツ研究との関連では、[藤田 06]を参照した。

調査データの確認と補完を行うために、マスコミ各社の社史として[NHK長崎 84] [長崎新聞 01] [長崎放送 02] [東京放送 02]を用いた。またメディア史及び社会史との関連では[NHK文研 03a] [NHK文研 03b]を活用した。

上記は[森田 07b]に引き続いて活用した関連研究であるが、本研究では内容分析に数値を用いる手法を提案するために[徳永 99]を参照した。他にドキュメンタリー番組関連の研究としては、[今野 04]及び[森 08]を参考文献として掲載する。

5. 長崎平和祈念式典の内容分析（その1）

既に述べたように2008年8月9日は、土曜日であった。テレビの番組編成では、一般に月～金曜日と比較してニュースが番組数、放送時間ともに少なくなる。加えて北京オリンピックの開会式翌日であったために、数少ないニュース枠も五輪カラーが強くなった。それでも、定時を外れたとは言えNHKの夜「7時の」ニュースでは6日の広島同様に3番目のイシューとして取り上げられていた。

最初の内容分析として、式典終了後のニュース番組における取り扱いを検討する。この章では、8月9日が木曜日であったために比較するニュース番組が多い2007年のデータに基づくものとする。また、中継番組の放送時間に類似性がありながら、以降のニュース番組編成及びテレビ局としての設立時期では対照的な長崎放送（NBC）と長崎国際放送（NIB）を事例として検討する。

表3は、2007年8月9日式典後における長崎放送（NBC）のニュース番組内容から式典関係のイシューを抜粋して分析したものである。この日の式典関連ニュース素材はA、B、Cの3種類であった。そのうち式典ダイジェストを含むAは、全てのニュース番組で使用されている。Bは長崎ローカル局の記者が取材したものだが、全国ニュースで放送されている。CはJNN系列の夜の代表的なニュース番組のみで放送されたものだが、長崎で取材された素材も含むものである。

これに対して表4は、長崎国際放送（NIB）の2007年8月9日である。Aのダイジェストは式典直後の全国ニュースで使用され、以降は長崎ローカルのニュースで別素材も加えてCやDと変形した。Bは式典の内容ではなく原爆関連の出来事に触れたものであった。最大の特徴は、NNN系列の代表的な夜のニュース番組で長崎が全く取り上げられなかったことである。終戦特集というシリーズはあったものの、8月9日は沖縄がテーマであった。

表3と表4を比較してみると、JNN系列のニュース・ネットワークではキー局とローカル局の間で双方向の受発信が可能となっていることを窺い知ることができる。長崎国際放送（NIB）は式典ダイジェストを全国に発信した後、この素材を元に原爆記念日の時間経過に従って変形させてローカル・ニュースで使用していた。

以上のように、ニュース素材の比較検討は、各放送局の報道姿勢やニュース・ネットワークの実態を推測するには有益であると考えられる。この手法は、映像のみならず番組表による放送時

間や番組内容の把握が不可欠であり、[森田 07b]における成果の延長として、また本研究から本格化する映像分析の第一歩としても位置づけることができる。

換言すればこの手法には、番組の映像のみでは成立しない。常に外部情報としての番組表や式典の歴史的経緯などを参照する必要がある。

ここで[森田 07b]の補遺として表5と表8について触れることとする。

表5は、主な追悼式典のテレビ中継状況をまとめたものである。沖縄の式典は本土復帰前からも6月23日に開催されていたが、全国中継はようやく2005年に実現している。しかし、これはNHK総合テレビの正午のニュース番組内での全国中継であった。沖縄の式典は、2006年に11時35分から12時45分まで九州管内で11時54分から12時20分までのニュース中断を挟みながら中継を始めた。これが正午のニュース後12時20分から12時45分までの特別番組として全国中継されるようになったのは2008年からである。

8月15日に開催される全国戦没者追悼式は、表5に掲げたように第一回の1963年から欠かさずNHK総合テレビで中継されている。ところが、この式典は表8に記したように当初2回は会場と時間が現在とは異なっていた。テレビ放送は、この式典の中継番組成立に伴い、それまで8月15日あるいは7月15日に行ってきた盆法要や盆踊りの中継を取りやめている。式典が現在の会場である日本武道館に移り、中継時間が11時50分から12時05分までとなった1966(昭和41)年が法要から式典へ完全以降した年である。

8月15日の式典は、この他に甲子園の高等野球にも影響を及ぼすこととなる。この日の正午に黙祷を行う模様が新聞記事となる。しかしながら、甲子園における黙祷は、1963(昭和38)年以前にも行われていたという記録もあるようで、「終戦記念日」問題と関連してさらに注意深く検討する必要がある。[佐藤 05][川島・貴志08]

周知のように1960年代はテレビ放送の揺籃期であり、1953(昭和28)年のテレビ本放送開始以来、10年間ほどの変遷は新聞に掲載される番組表の形にも反映されている。表8に記したのは、朝日新聞東京版におけるテレビ番組表の変遷である。本放送開始直後にはラジオ番組表の欄外に記されたテレビ番組は、翌1954(昭和29)年には別枠となり、一年後にラジオとテレビの枠が横並びとなる。1957(昭和32)年に午前中のテレビ放送が始まると番組表に時間枠が付けられるようになり、全日放送となった1959(昭和34)年にはラジオの番組表と同程度の掲載面積に至る。そして1961(昭和36)年にはテレビ番組表がラジオ番組表の上部に掲載されるようになり、1964(昭和39)年にテレビ東京の開局によって在京民放5局のテレビ番組表が完成する。現在のテレビ・ラジオ欄となるのは両者の掲載面が分離した1986(昭和61)年だが、このようにテレビ番組表は本放送開始後約10年で原型を得たことになる。

なお、テレビ番組表に関しては本研究のため過去の新聞を調査した際に、興味深い実例を発見したので付記しておく。1959(昭和34)年4月1日、富山県に北日本テレビが開局した際に北日本新聞に掲載されたテレビ番組表には、放送予定時刻、番組名や出演者と共にスポンサーの社名が明記されていた。このスポンサー明記の番組表は、同年同月16日まで続いた。しかし翌17日からはラジオの北日本放送ともどもスポンサー名が掲載されなくなっている。

本章に記した手法は、上記のような周辺情報を数多く取り入れながら、メディア史や社会史の研究領域と往還しつつ洗練させて行く必要があると考えられる。

6. 長崎平和祈念式典の内容分析(その2)

表6及び表7に掲載したのは、番組がどこまで式典を忠実に中継しているか数値化によって比

較する試みである。

数値化の手順は、以下の通り。

まず、式次第に従って式典のシーン（場面）の総数を13と定める。式次第には12項目が掲載されているが、実際には「来賓挨拶」が内閣総理大臣と長崎県知事によって行われていることから別項目としたためである。

この式典本来のシーンを各局の番組がどの程度中継しているのか、一致するシーン数を求める。番組のシーンは、式典のシーンに各局独自の音声又は映像（キャスターやゲストの発話、あるいは式典と異なる映像素材など）が重複していないものを一致したと考える。

各局番組のシーン総数は、放送開始・放送終了時刻から式次第に従って算定する。

上記した式典本来のシーン総数、一致数、各局番組のシーン総数から一致度を算出する。指標となる数値の算出方法は、図1に示した。再現率は、各局番組が式典のシーンをいくつ中継しているかを示すものである。精度は、番組全体の中で式典を忠実に中継しているシーンの割合である。そして両者を要約した数値として多重平均を取ってF値を算出する。F値は0から1までの範囲で得られる数値であり、1に近づくほど一致度が高い。

F値の考え方は、図2に示した。2aは0に近いF値、2bは0.5、そして2cは1に近いF値の状態を示している図である。2dは再現率が高いが精度が低い状態であり、2eは精度が高いが再現率が低い状態を表している。

以上のような数値化を行った結果、表6では2007年8月9日に放送された番組を比較することができる。最も高いF値0.78を示したのは長崎放送（NBC）であった。この値は精度0.90から得られたものである。この年、長崎放送（NBC）の番組放送時間は5局中で最も短い150分であった。この時間的制約から再現率が低下してしまったものとも考えられる。一方で最も低いF値0.09を示したのは長崎国際放送（NIB）である。同局の番組放送時間は60分であるが、殆どのシーンで式典本来の音声にキャスターあるいはゲストによる発話が重なっている。これは、式典の内容を把握するにしても、一方でゲストの話に耳を傾けるにしても、どちらにせよ他方の発話又は音声は妨げとなる。「平和宣言」や「来賓挨拶」など式典での発話を把握することを求める視聴者にとっては、いささか情報過多の状態となる。

表7は、2008年の比較である。テレビ長崎（KTN）が前年よりも再現率を大幅に向上させてF値を0.80としている。同局は、前年に90分であった放送時間を50分と減少させているが、放送終了時間が15分遅くなったために式典後半の中継が可能となっている。また、2007年はキャスターとゲストの会話が空転して発話が式典シーンに重なることがあったが、2008年はこの問題を解決している。長崎放送（NBC）がF値首位の座を明け渡したのは、同局の番組が全国ニュースのために一時中断となったことが大きく影響しているものと考えられる。一方で長崎国際放送（NIB）は、2年連続で最下位である。F値は0.35と相応に向上しているが、番組の進行は2007年と同じパターンであった。

表9と表10は、本来数値化作業に先立って作成したものであった。後述する別の目的で視覚化するために数値データよりも後に掲載した。双方共に式次第と番組内容の対応関係を示すものである。網掛けとなったセルは、式典本来の発話に番組独自の音声や映像が重なったシーンであることを示す。また各シーンで画面ワイプによる手話通訳の映像や字幕が併用された場合には明記した。

共通する特徴は、以下の通り。まず、式典最後の「閉会」は全ての局が2年連続して中継していない。次に長崎市議会議長による「式辞」を完全に中継するのは長崎放送（NBC）のみである。一方で長崎市長による「平和宣言」は、全ての局が必ず中継している。

表9から明らかになるのは、式典終了時間の手前で番組の中継を終えてしまう局が多いということである。前述したように「閉会」は全局が中継していないので、完全中継は皆無であるが、10～15分前に終了するのが3局もある。さらにテレビ長崎(KTN)が手話対応の放送をしていることも特筆に値する。

2008年は、式典当日が土曜日となることによって長崎国際放送(NIB)を除き、4局が式典終了時刻以降に番組を終了している。表10からは、テレビ長崎(KTN)が手話に加えて字幕を多様するようになったことが明らかになる。

表9及び表10で「」印を付したのは、同一シーンのうち最も忠実に式典を中継したと考えられるものである。音声や映像が極力式典本来のものとなっていること、手話や字幕が用いられていることなどを判断基準とした。この「」印を連結させることによってテレビ番組から最も忠実な式典の記録映像を得ることが可能となる。大半は長崎放送(NBC)とテレビ長崎(KTN)の番組から得るもので、終盤はNHKのシーンを用いる。なお表10では長崎文化放送(NCC)のシーンが一部必要となるが、これは長崎放送(NBC)が番組を中断したために「献花」の完全なシーンを放送できなかったためである。

以上の考察から、数値化による比較であってもシーンごとの内容もある程度反映されていることが明らかになった。

7. 長崎くんち

長崎くんちに関しては録画データを得てから本論文執筆までに10日弱と時間的余裕が無いことから、番組内容の分析に踏み込むことが不可能であった。そこで内容分析に代わり、放送時間に関する検討を行った。

表11は、長崎くんち中継番組放送時間の推移をまとめたものである。表中、NHKは1991(平成3)年から総合テレビと教育チャンネルとを適宜切り替えることによって番組内容を連続させ(表11中で二重下線を付す)、2002(平成14)年以降、長崎くんち特別番組は全て教育チャンネルで放送している(表11中で「+」印を付す)。なお、2003(平成15)年及び2004(平成16)年の10月7日はBSハイビジョンで一部をサイマル放送している(表11中で「*」印を付す)。また、テレビ長崎(KTN)は2008年の番組を一時中断してキー局からの番組を挟んでいる(表11中で太枠使用)。

長崎くんちの特別番組は、長崎県域が民放4系列放送となった直後の1993(平成5)年10月8日に7時30分から8時の間、NHK「総合」を除く地上波全チャンネル同一コンテンツという状況となった。しかし、これはあくまで新聞のテレビ番組表から得られたデータである。CM等によって実際には地上波全チャンネル同一コンテンツが実現されていない可能性もある。15年以上前の放送を検証することは、現状では不可能である。

ところで2008年は、表11にも示したように4局が長崎くんちの中継特別番組を放送した。長崎国際放送(NIB)は、全国放送の中で諏訪神社からの中継をスポットで行っている。

表12は、2008年10月7日において総放送時間に占める「長崎くんち奉納踊り」生中継の占有率を各局別に示したものである。中継時間では長崎放送(NBC)が236分と最長である。一方で占有率はNHKが18.9%でトップとなっている。これは前述したように中継を行ったのが教育チャンネルであるためと当日が深夜放送休止日であったため、総放送時間が通常よりも短いという要因も考慮すべきであろう。しかしながら、4時間近い生放送であれば、2割近い占有率となることも頷ける。なお、占有率、中継時間も下位となった2局は、同日に録画による特別番組を放

送している。

さて、表13には地上波全チャンネル同一コンテンツとなった瞬間を記している。前述したように番組は設定していなかったが長崎国際放送（NIB）はスポットで中継しているので、その中継時間に依拠して他局の放送状況を照会した。表中で網掛けをしたセルが諏訪神社からの映像を放送している時間である。各局中継番組放送時間内の白地のセルはCMである。6時55分を見ると5局が揃ったかのようなのであるが、奉納踊りの開始は午前7時であり、諏訪の鳥居を一瞬映したのみですぐにCMとなった局もあった。次に、そして生中継時間で唯一5局が一致したのは、7時27分46秒から始まる瞬間であった。長崎国際放送（NIB）が約1分間の中継を行った。しかし、7時27分は一番町である新橋町が奉納を終えた直後で、各局は一斉にCMに入り、NHKもゲストのアップなどを放送していた。CMへの移行が最も早かったのは長崎放送（NBC）で7時28分10秒であった。これまで記した時刻は全てコンピュータのソフトウェアによる表示に基づいており、実時間とは誤差があると考えられるが、本論文ではこの数値を使用する。結果としては、7時27分46秒から7時28分10秒まで長崎の地上波テレビが諏訪神社から同一のコンテンツを中継していたことになる。

続いて表14は、同日夕刻のローカル・ニュースの時間帯をプロットしたものである。NHKはローカル・ニュースを放送している総合チャンネルに代わっている。夕方の時間帯はスタート時間が18時10分のHNK総合、同10分代後半の長崎放送（NBC）とテレビ長崎（KTN）、同20分代後半の長崎文化放送（NCC）と長崎国際放送（NIB）の3グループに分かれている。前3者は放送時間が重複するが、20分代スタートの2者とはどのようにしても重ならない。しかし、長崎文化放送（NCC）はローカルに先立ち九州ブロックのニュース番組があり、長崎国際放送（NIB）は録画による長崎くんち特別番組の放送があった。これによって、18時20分05秒から18時21分25秒まで録画などによるもので素材は異なるが、夕刻にも再び同一コンテンツとなる瞬間があった。

表13及び表14は、番組表と録画データの検証を相互に行った成果を示したものである。

8. まとめと展望

本論文は2008年に録画した番組を含めて速報値としての報告、2007年の研究の補完と訂正を含めたものであった。内容分析の方法については、いくつかの提案を行った。今後必要となるのは、5章及び6章で示した手法と7章の手法を接合させることである。長崎平和祈念式典と長崎くんちは同じスタッフによって中継されることが多い。くんちで有効な発話も平和祈念式典では逆効果となる。内容分析によってこうした差異を明示できるような研究に近づけて行きたい。

参 考 文 献

- [藤田 06] 藤田真文：ギフト，再配達 テレビ・テキスト分析入門，せりか書房，2006。
[藤田・森田・西島 01] 藤田米春，森田均，西島恵介：文学におけるコミュニケーションの構造，認知科学8（4），日本認知科学会，pp.343-351，2001。
[Gerbner & Gross 76] George Gerbner & Larry Gross: Living With Television: The Violence Profile, Journal of Communication 26, pp.173-199, 1976. Reprinted in Michael Morgan (ed.), Against the Mainstream: The Selected Works of George Gerbner, Peter Lang Publishing, 2002.

- [川島・貴志08] 川島真, 貴志俊彦・編: 資料で読む世界の8月15日, 山川出版社, 2008.
- [岩男 00] 岩男寿美子: テレビドラマのメッセージ 社会心理学的分析, 勁草書房, 2000.
- [鎌田 02] 鎌田慧: 地方紙の研究, 潮出版社, 2002.
- [径書房89] 径書房・編: 増補版 長崎市長への七三〇〇通の手紙, 径書房, 1989.
- [今野 04] 今野勉: テレビの嘘を見破る, 新潮社, 2004.
- [久留島・原田 06] 久留島浩・原田博二: 秘蔵! 長崎くんち絵巻 大阪府立中之島図書館所蔵絵巻 崎陽諏訪明神祭祀図, 長崎文献社, 2006.
- [森 08] 森達也: それでもドキュメンタリーは嘘をつく, 角川書店, 2008.
- [森田 00] 森田均: 小さなメディアの大きな変容, 新・調査情報23号(株式会社東京放送), pp. 46-51, 2000.
- [森田 01] 森田均: コミュニティ放送局のインターネット利用, マス・コミュニケーション研究 第59号, 日本マス・コミュニケーション学会, pp.178-192, 2001.
- [森田 04] 森田均: 「注文の多い料理店」のグラフ, 地図, 樹状図, 県立長崎シーボルト大学国際情報学部紀要第5号, pp.117-131, 2004. 『国文学年次別論文集』平成16年版近代分冊第4巻(学術文献刊行会, 2007.)へ転載
- [森田 05] 森田均: 「注文の多い料理店」のハイパーテキスト変換とその評価方法, 国際情報学部紀要第6号, 県立長崎シーボルト大学, pp.175-190, 2005. 『国文学年次別論文集』平成17年版近代分冊第4巻(学術文献刊行会, 2008.)へ転載
- [森田 06] 森田均: 長崎コンテンツのメディア論的研究と資料デジタル化予備調査 - 天正時代の活版印刷と甲子夜話のハイパーテキスト化 -, 県立長崎シーボルト大学「教育研究高度化推進費B」に係る研究報告書, pp.397-410, 2006.
- [森田 07a] 森田均: 生成のための修辞, 認知科学13(4), 日本認知科学会, pp.566-570, 2007.
- [森田 07b] 森田均: テレビ番組としての平和式典と長崎くんち, 国際情報学部紀要第8号, 県立長崎シーボルト大学, pp.139-154, 2007.
- [森田・藤田 01] 森田均, 藤田米春: ハイパーテキスト文学論, 認知科学8(4), 日本認知科学会, pp.327-334, 2001.
- [長崎放送 02] 長崎放送株式会社・編: 長崎放送50年史, 長崎放送株式会社, 2002.
- [長崎市民の会90] 言論の自由を求める長崎市民の会・編: 天皇制と小さな民主主義 本島長崎市長銃撃に抗する市民たち, 明石書店, 1990.
- [長崎新聞 01] 長崎新聞社社史編纂委員会・編: 激動を伝えて一世紀 長崎新聞社史, 長崎新聞社, 2001.
- [長崎新聞 08] 長崎新聞社報道部: 検証・長崎市長射殺事件 断て! 暴力, 長崎新聞社, 2008.
- [西別府・岩男 04] 西別府厚子・岩男寿美子: テレビドラマの社会心理学的研究, 武蔵工業大学環境情報学部紀要第7号, pp.79-89, 2004.
- [NHK文研 03a] NHK放送文化研究所・編: 20世紀放送史 資料編, 日本放送出版協会, 2003.
- [NHK文研 03b] NHK放送文化研究所・編: テレビ視聴の50年史, 日本放送出版協会, 2003.
- [NHK長崎 84] NHK長崎放送局50年史編集委員会・編: NHK長崎放送局50年史, NHK長崎放送局, 1984.
- [NHK出版 03] 日本放送出版協会・編: ヒロシマはどう記録されたか NHKと中国新聞の原爆報道, 日本放送出版協会, 2003.
- [佐藤 05] 佐藤卓己: 八月十五日の神話 終戦記念日のメディア学, 筑摩書房, 2005.

- [東大新聞研 83] 東京大学新聞研究所・編：テレビ・ロ - カル放送の実態 岩手県の場合，東京大学出版会，1983.
- [東大新聞研 84] 東京大学新聞研究所・編：広域圏におけるテレビ・ロ - カル放送 テレビ・ロ - カル放送の実態「神奈川県・和歌山県」，東京大学出版会，1984.
- [東京放送 02] 株式会社東京放送・編：TBS50年史，株式会社東京放送，2002.
- [徳永 99] 徳永健伸：情報検索と言語処理，東京大学出版会，1999.
- [横田 08] 横田信行：赦し 長崎市長本島等伝，にんげん出版，2008.

付記：本論文は，平成19～21年度日本学術振興会科学研究費（萌芽研究）補助金（課題番号：19653046）による研究成果の一部である。

<表6: 中継番組と平和式典の一致度 2007年8月9日(木)>

	NHK	NBC	KTN	NCC	NIB	式典次第
シーン数	12	10	9	9	10	13
式典との一致	8	9	6	7	7	13
F measure	0.64	0.78	0.55	0.64	0.09	1
R(再現率)	0.62	0.69	0.46	0.54	0.08	1
P(精度)	0.67	0.90	0.67	0.78	0.10	1

<表7: 中継番組と平和式典の一致度 2008年8月9日(土)>

	NHK	NBC	KTN	NCC	NIB	式典次第
シーン数	12	12	12	9	10	13
式典との一致	9	9	10	7	4	13
F measure	0.72	0.72	0.80	0.64	0.35	1
R(再現率)	0.69	0.69	0.77	0.54	0.31	1
P(精度)	0.75	0.75	0.83	0.78	0.40	1

再現率 = $\frac{\text{番組と式典のシーンが一致した数}}{\text{式典のシーン数}}$

精度 = $\frac{\text{番組と式典のシーンが一致した数}}{\text{番組のシーン数}}$

F値 = $\frac{2 \times \text{再現率} \times \text{精度}}{\text{再現率} + \text{精度}}$

<図1: 各指数の算出方法>

<表3: 2007年8月9日(木)NBC長崎放送のニュース内容>

番組名	開始	終了	区分	素材
ピンポン	11:30	13:00	全国ニュース	A
今日感テレビ	15:00	15:50	九州ニュース	A
イフニング・ニュース	17:50	18:16	全国ニュース	A,B
報道センターNBC	18:16	18:50	長崎ニュース	A
琉球哲也NEWS23	22:54	23:50	全国ニュース	A,C,B
NBCニュース&天気予報	23:50	23:55	長崎ニュース	A

- A: 祈りの日被爆地の動き 式典ダイジェスト 久間発言 伊藤市長銃撃
- B: 秘蔵映像を発見! 長崎原爆投下直後を軍医が撮影
- C: "久間発言"に長崎は今... 被爆者団体代表による久間発言批判

<表4: 2007年8月9日(木)NIB長崎国際放送のニュース内容>

番組名	開始	終了	区分	素材
ニュースD&天気	11:30	11:50	全国ニュース	A
NNN Newsリアルタイム	16:53	18:16	全国ニュース	B
リアルタイム長崎	18:16	18:50	長崎ニュース	C
NIBニューススポット	20:54	21:00	長崎ニュース	D
NEWS ZERO	22:54	23:55	全国ニュース	無し

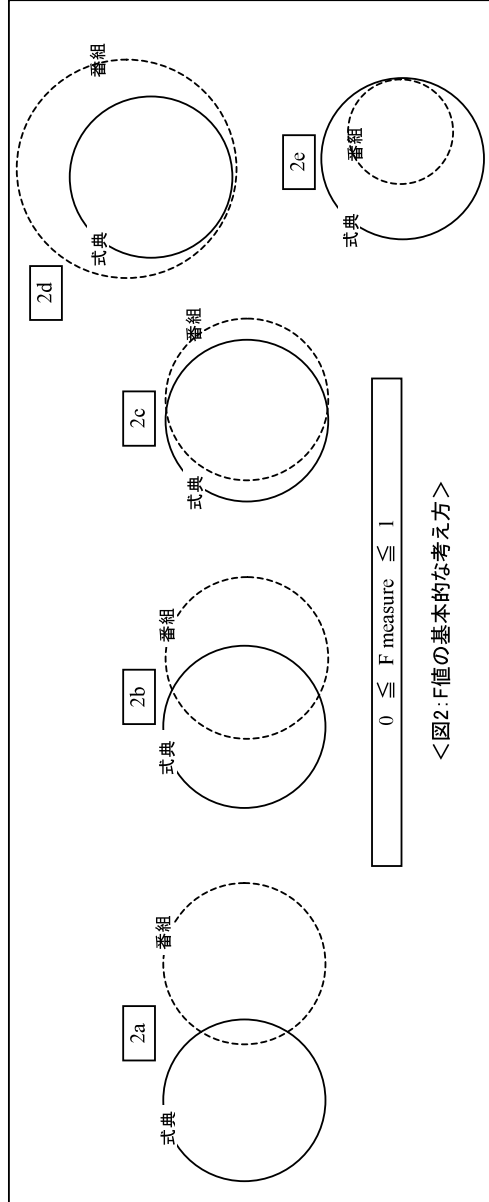
- A: 平和祈念式典 式典ダイジェスト 久間発言に政府の非核政策堅持求める市長
- B: 久間発言批判 安倍首相陳謝(NTV)
- C: 平和祈念式典 式典ダイジェスト 朝の浦上天主堂(NIB)
- D: 原爆の日 たいまつ行列など夕刻以降の様子(NIB)

<表5: 主な追悼式典のテレビ中継>

名称	月日	開始年	ローカル放送	全国中継
沖縄全戦没者慰霊祭	6月23日	1962年	1985年	2008年
広島市原爆死没者慰霊式	8月6日	1947年	1958年	1957年
並びに平和祈念式	8月9日	1948年	1959年	2000年
長崎市原爆犠牲者慰霊平和祈念式典	8月15日	1963年	1963年	1963年

<表8:テレビ番組欄の形成と全国戦没者追悼式中継>

8月15日	ラジオ・テレビ番組欄の構成		甲子園大会(8月)		盆法要中継		ラジオ	盆踊り中継	全国戦没者追悼式中継	
	西暦	元号	開演	終了	熱戦記事	テレビ			NHK総合テレビ	NHKラジオ第一
1953	昭和28	土曜	13日	20日		7/13, 8/13	7/15, 8/13, 15			
1954	29日	日	13	22	別枠	7/13, 8/13, 15	8/13, 15			
1955	30日	月	10	17	機並び	7/13, 8/13	8/13, 15			
1956	31日	水	12	20		7/13, 8/13	8/13, 15			
1957	32日	木	12	20	テレビ午前も放送、時間枠付き	7/13, 8/13	8/13, 15			
1958	33日	金	8	19		7/14	7/14, 15, 8/15			
1959	34日	土	8	18	テレビ全日放送、ラジオと横幅同一	7/14	7/14, 15, 8/15			
1960	35日	月	12	21		7/13, 8/13	7/14, 15			
1961	36日	火	11	20	テレビ欄が上部へ	7/15	7/13, 15, 8/13, 14, 15			
1962	37日	水	10	19		7/15, 8/13	7/14, 15, 8/13, 14, 15			
1963	38日	木	9	20	第一回全国戦没者追悼式	7/13	7/13, 14, 15, 8/13	11:50 12:30	11:50 12:30	会場: 日比谷公会堂
1964	39日	土	9	18	東京12チャンネル開局	20	夕刊	11:50 12:30	11:50 12:30	会場: 靖国神社
1965	40日	日	13	22	夕刊	8/14	7/15, 8/15	11:50 12:30	11:50 12:30	会場: 日本武道館
1966	41日	月	12	24	15日雨天中止	7/15, 8/15	7/15, 8/15	11:50 12:05	11:50 12:05	



<図2: F値の基本的な考え方>

<表9: 平和式典特別番組の放送内容 2007年8月9日(木曜日)>

平和祈念式次第	予定時刻	テレビ中継の動向	NHK長崎		NBC		KTN		NCC		NIB	
			開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
開式	10時40分		10:40	11:40	10:40	11:30	9:55	11:25	10:45	11:40	10:30	11:30
死没者名簿奉安	10時40分				○		○					
式辞(長崎市議会議長)	10時42分	10時45分NCC開始			○							
献水	10時46分				○							
献花	10時48分				○							
黙祷	11時02分				○							
平和宣言(長崎市長)	11時03分						○手話					
平和への誓い(被爆者代表)	11時13分						○手話					
児童合唱	11時18分		字幕		○字幕					字幕		字幕
来賓挨拶(内閣総理大臣)	11時23分	11時25分KTN終了			○							
来賓挨拶(長崎県知事)	11時28分	11時30分NBC、NIB終了	○									
千羽鶴合唱	11時33分		○字幕									
閉式	11時38分											

<表10: 平和式典特別番組の放送内容 2008年8月9日(土曜日)>

平和祈念式次第	予定時刻	テレビ中継の動向	NHK長崎		NBC		KTN		NCC		NIB	
			開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
開式	10時40分		10:39	11:48	10:30	11:54	10:30	11:40	10:45	11:40	10:35	11:25
死没者名簿奉安	10時40分						○					
式辞(長崎市議会議長)	10時42分	10時45分NCC開始			○							
献水	10時46分						○字幕					
献花	10時48分						○字幕					
黙祷	11時02分	10時50分-55分NBC中断					○			○前半		
平和宣言(長崎市長)	11時03分						○手話					
平和への誓い(被爆者代表)	11時13分						○字幕					
児童合唱	11時18分		字幕		字幕					字幕		字幕
来賓挨拶(内閣総理大臣)	11時23分	11時25分NIB終了					○字幕					
来賓挨拶(長崎県知事)	11時28分						○字幕					
千羽鶴合唱	11時33分		○字幕		字幕							
閉式	11時38分											

<表11:長崎くちち中継番組放送時間の推移>

西暦	月号	日	NHK長崎 (1958.12.23)		NHK長崎放送 (1959.1.1)		KTNテレビ長崎 (1989.4.1)		NCC長崎文化放送 (1990.4.1)		NIB長崎国際放送 (1991.4.1)	
			開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
1992	4	7	9:00		7:00	11:00						
1993	3	7			7:00	6:50						
1994	3	7			7:00	10:00						
1995	4	7	6:45	7:00	7:00	6:30						
1996	4	7			7:00	6:30						
1997	4	7			7:00	6:30						
1998	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
1999	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
2000	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
2001	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
2002	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
2003	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
2004	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
2005	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
2006	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
2007	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				
2008	4	7			7:00	6:30	8日 6:30	10:30				

<表13:2008年10月7日朝の放送状況>

時刻	NHK教育	NBC	KTN	NCC	NIB
6:50					
6:51					
6:52					
6:53					
6:54					
6:55					
6:56					
6:57					
6:58					
6:59					
7:00					
7:01					
7:02					
7:03					
7:04					
7:05					
7:06					
7:07					
7:08					
7:09					
7:10					
7:11					
7:12					
7:13					
7:14					
7:15					
7:16					
7:17					
7:18					
7:19					
7:20					
7:21					
7:22					
7:23					
7:24					
7:25					
7:26					
7:27					
7:28					
7:29					
7:30					
7:31					
7:32					
7:33					
7:34					
7:35					
7:36					
7:37					
7:38					
7:39					
7:40					
7:41					
7:42					
7:43					
7:44					
7:45					

<表14:2008年10月7日夜の放送状況>

時刻	NHK総合	NBC	KTN	NCC	NIB
18:10					
18:11					
18:12					
18:13					
18:14					
18:15					
18:16					
18:17					
18:18					
18:19					
18:20					
18:21					
18:22					
18:23					
18:24					
18:25					
18:26					
18:27					
18:28					
18:29					
18:30					
18:31					
18:32					
18:33					
18:34					
18:35					
18:36					
18:37					
18:38					
18:39					
18:40					
18:41					
18:42					
18:43					
18:44					
18:45					
18:46					
18:47					
18:48					
18:49					
18:50					
18:51					
18:52					
18:53					
18:54					
18:55					
18:56					
18:57					
18:58					
18:59					
19:00					

<表12:長崎くちち中継番組の占有率>

放送局	NHK教育長崎	NBC長崎放送	KTNテレビ長崎	NCC長崎文化放送	NIB長崎国際放送
年中継時間(単位:分)	230	236	155	95	8
総放送時間(単位:分)	1217	1296	1310	1341	1323
占有率	18.90%	18.21%	11.83%	7.08%	0.60%